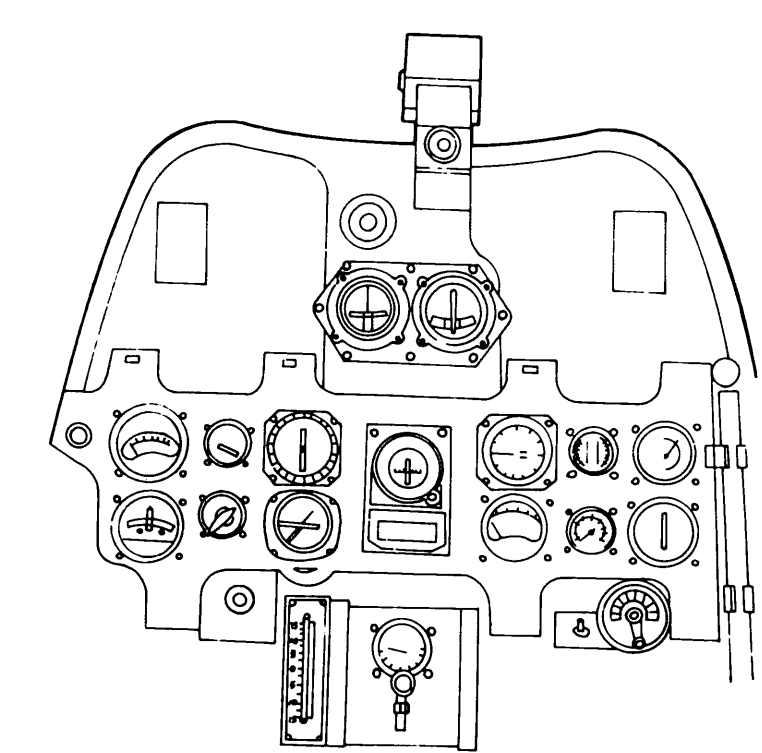
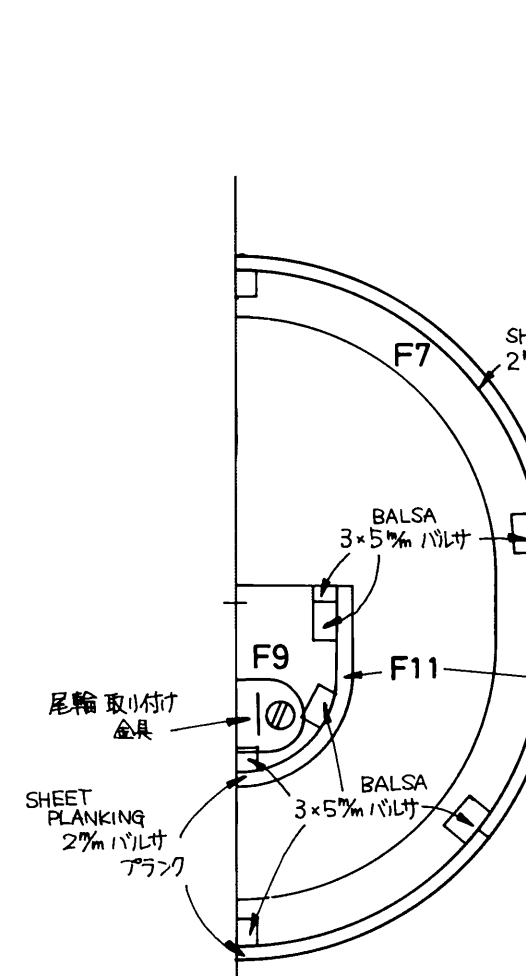
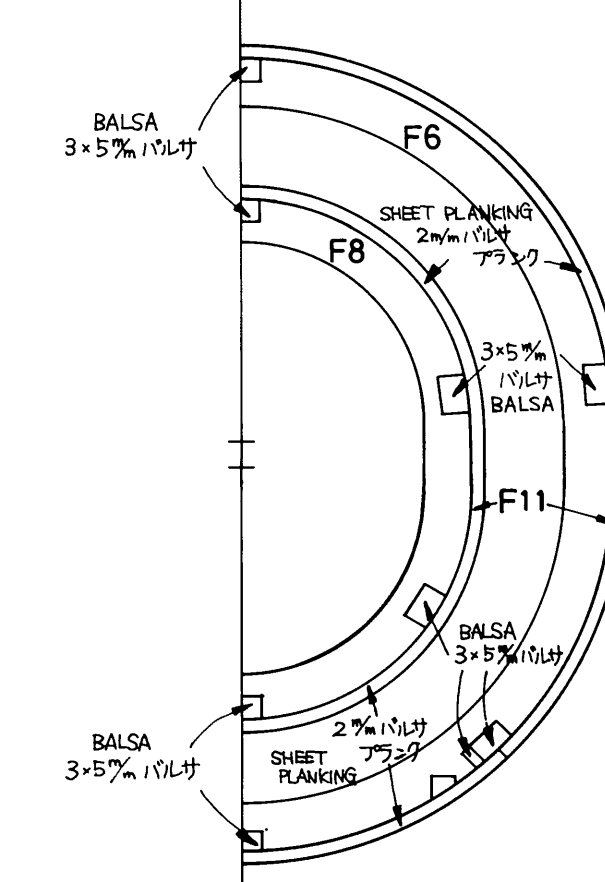
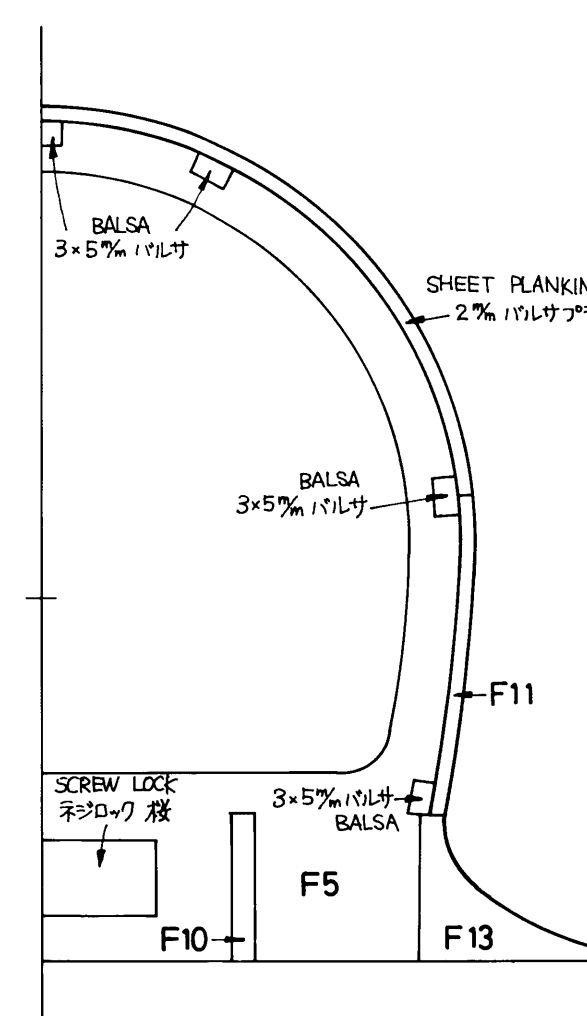
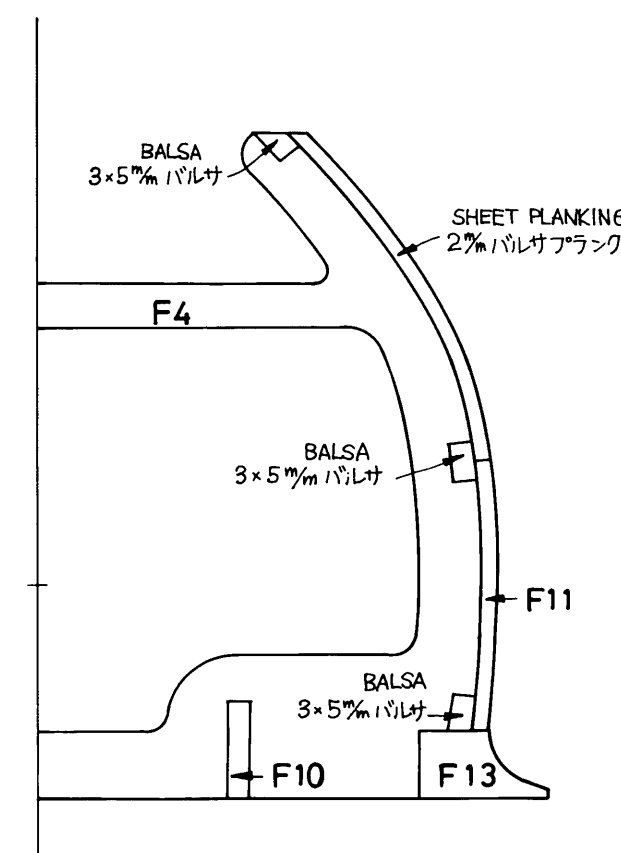
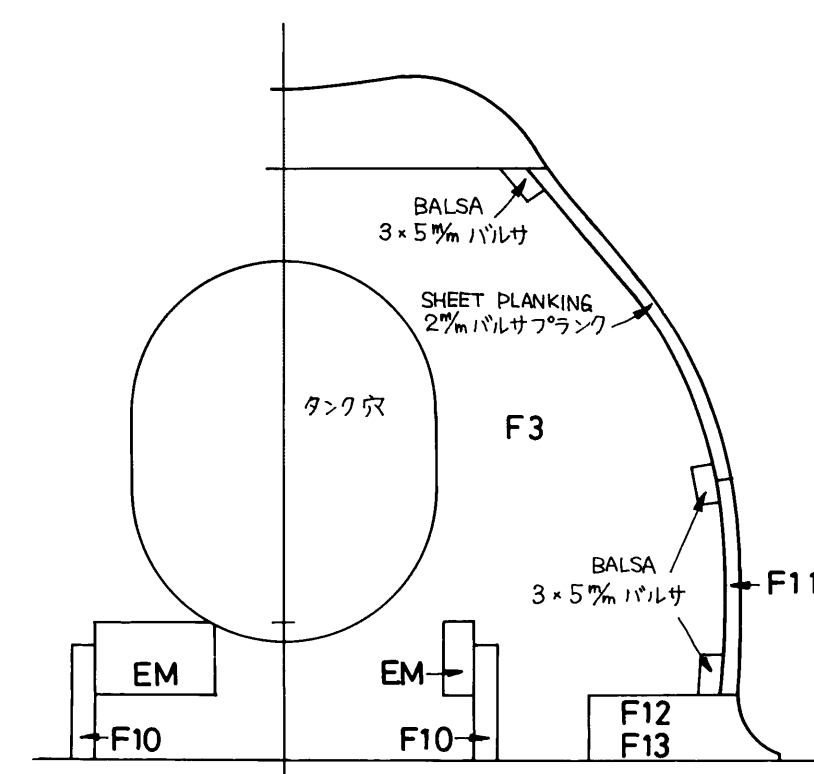
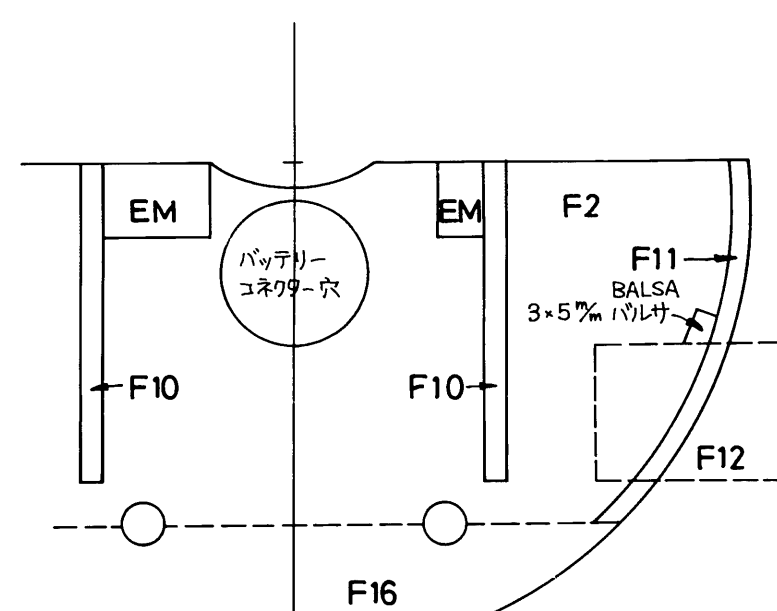
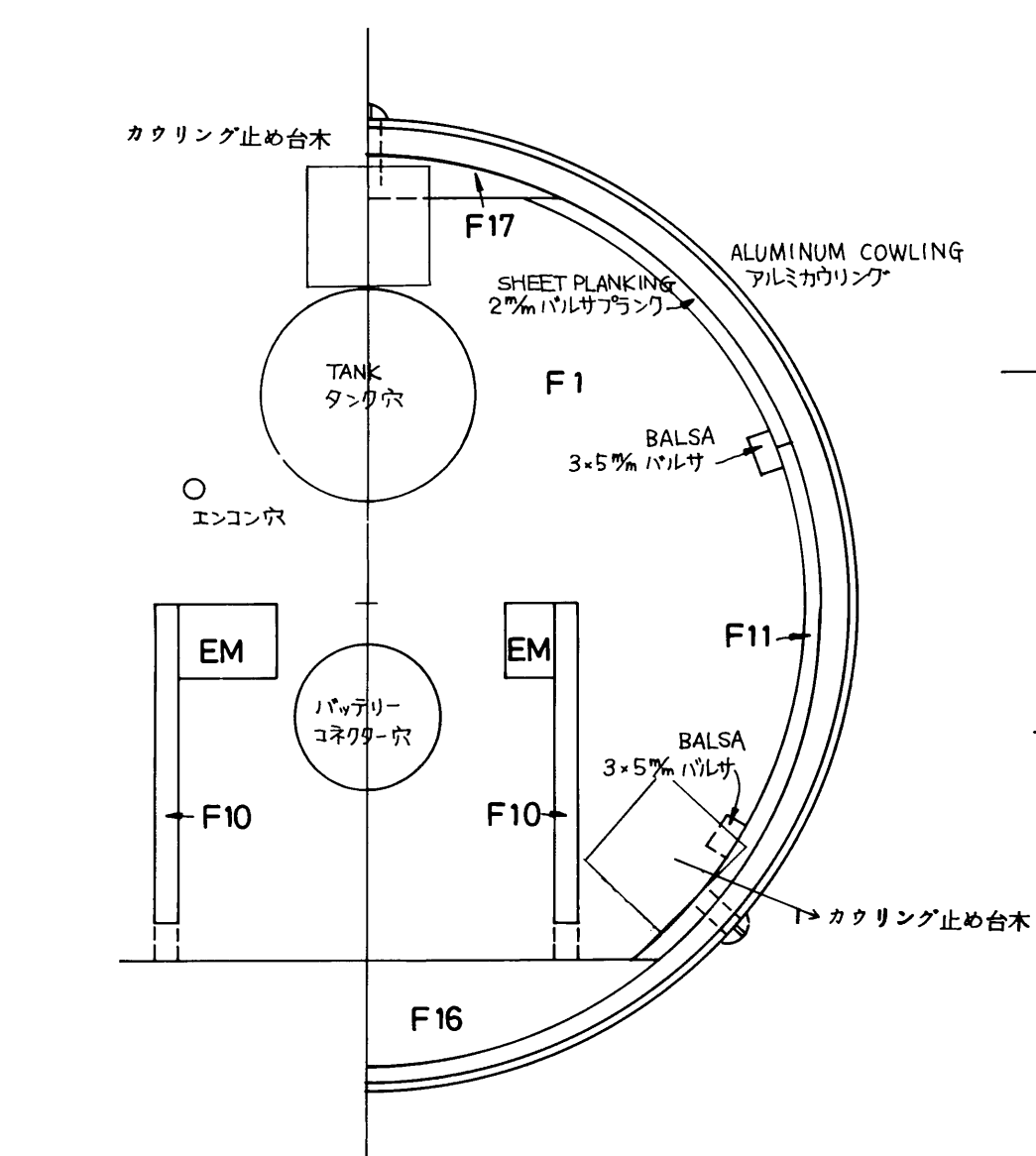
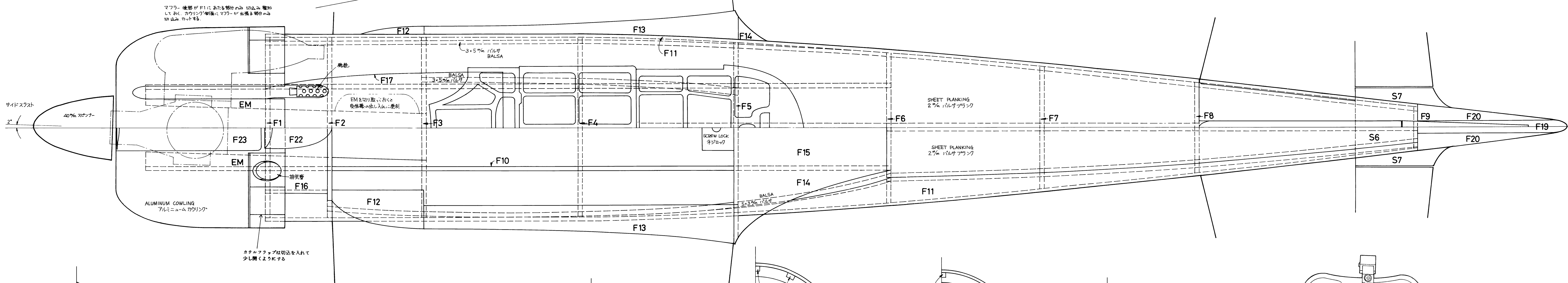
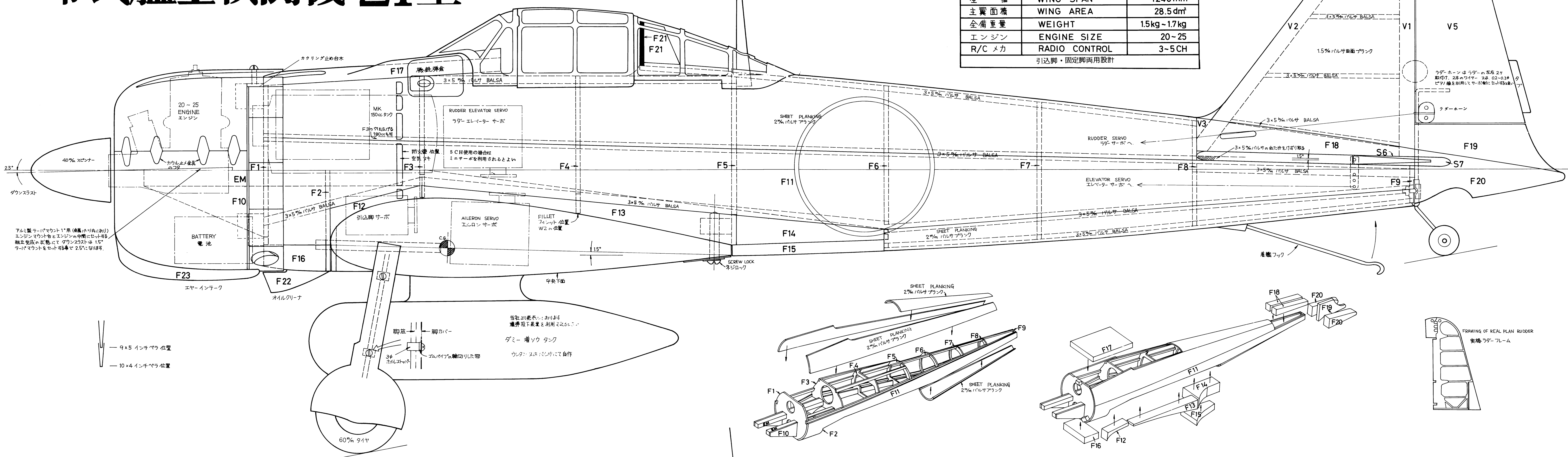
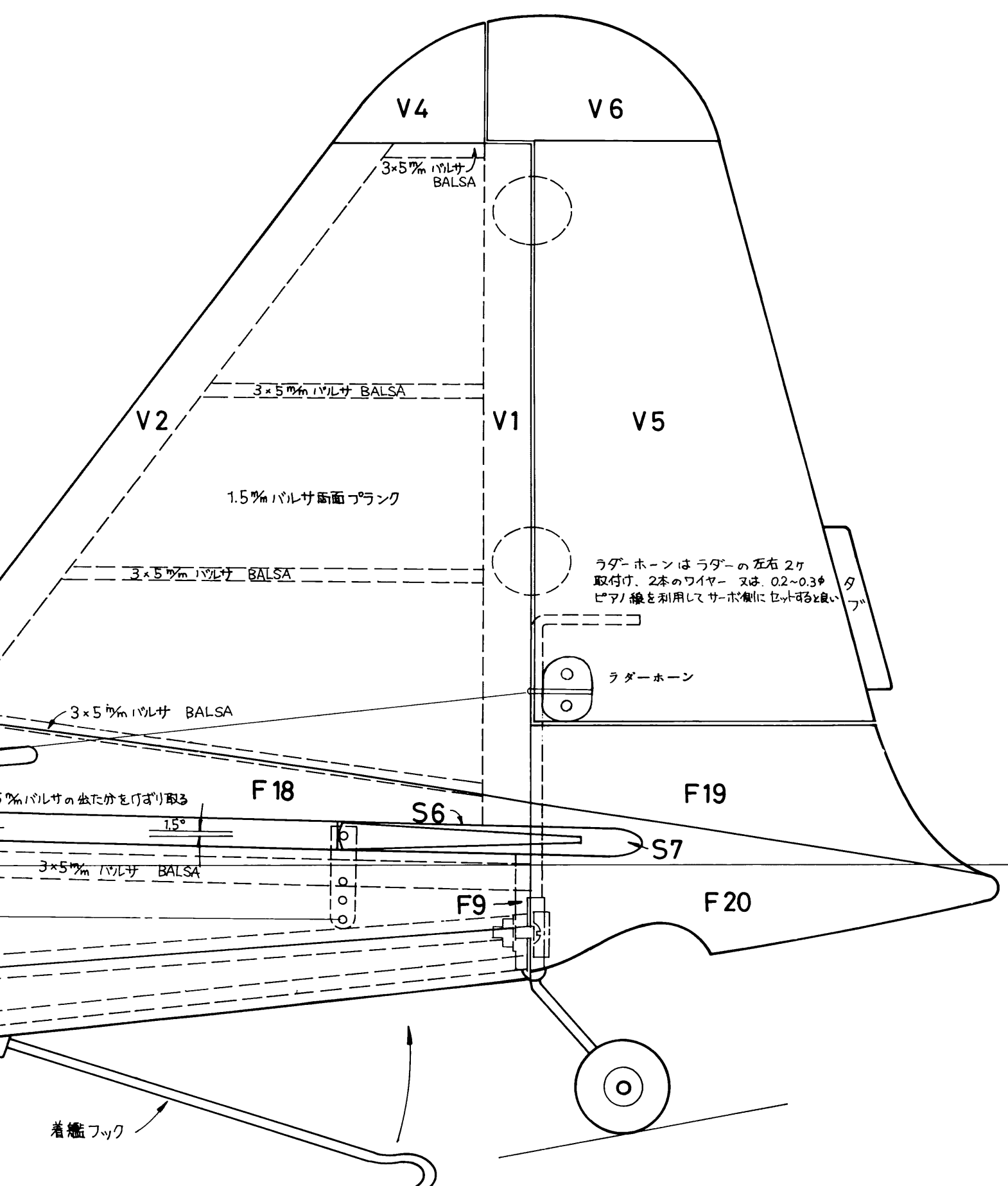
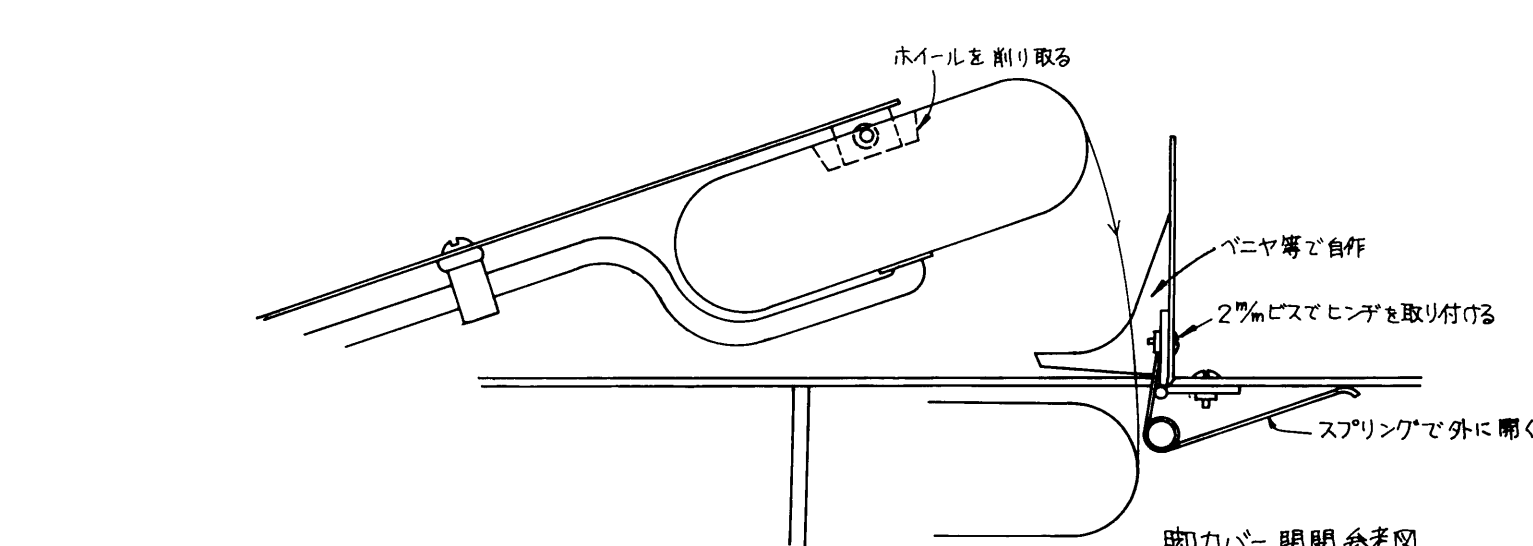


# ラバウルの翼

| DATA        |               |                      |
|-------------|---------------|----------------------|
| 全 長         | LENGTH        | 984 mm               |
| 全 幅         | WING SPAN     | 1240 mm              |
| 主翼面積        | WING AREA     | 28.5 dm <sup>2</sup> |
| 全備重量        | WEIGHT        | 1.5 kg ~ 1.7 kg      |
| エンジン        | ENGINE SIZE   | 20 ~ 25              |
| R/C メカ      | RADIO CONTROL | 3 ~ 5 CH             |
| 引込脚・固定脚両用設計 |               |                      |



前面計器 参考図



バルサ及びベニヤの枠型材を図面の番号と照合したのち組み立てて下さい。

**製作まえに**

よい仕上りと一層の魅力を発揮するために、製図や図をよく読み、よく見て、順序よく正しく組み立てて下さい。

①は曲線がほしいようになっています。カッターや小刀で切りはなし、組合せ部分の切り込みやミソなどに切り取って無難なへら・糸・ゴムハンマーなどで整えます。接合部には接着剤を用い、釘・金ビシ(売たてバネミ)・糸・ゴムハンマー・金具などで使えます。接着剤が完全に硬化したらさばけ取を除去します。木部の加工や整いはカンナや小刀・ヤスリなどを使いますがササグサ・ベーパー感・木目とヤスリとに慣れることがきます。

本文中(W)：ホワイトセメダイン、(E)：エポキシ系接着剤の略称です。

① 先ず引込脚にするか、固定脚に

- 面灰白色で、カウリングのみ黄と黄色い透りかたが横線で、上辺に暗緑色の縁線が通るようになった。  
裏は、上面の暗緑色で、下面が明白色。カウリングが黒。下面の明白色は、母体産卵期のニ型とみなされた。  
ではなく、他の海老類と同じ、ライトグレーで、色のままというものも見られた。  
純白色なく、やや青みがかった、黒に近いダークブルー色と同じである。  
が、産卵によつては産卵の色、赤、白などに違ってくる。  
先頭にも赤線と二本入れ、後頭にも黄色いものがあったが、先頭部に黄色の線を二本入れたものが、標準である。

メカ類の積み込みは出来る限り、機体の前部へセットして重心を必ず  
図面の位置へ合わせて下さい。機体の仕上がり状況や、エンジン等の  
重量によってはテールヘビーになり、おもりの要る場合があります  
が、重心はあくまでもメカ類で調整し、おもりは最低限度におさえ  
て下さい。